学校番号	３０２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の地理総合（帝国書院） 基本地図帳（二宮書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業時は、教科書・地図帳を必ず持参してください。
・自宅での学習も含め計画的に取り組むようにしてください。
・グループワークなども行います。積極的に発言をしたり、友達と協働したりしながら取り組むことを意識してください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、地図や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事象に関心を持ち、粘り強く課題に取り組む力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解する。 ・地図や地理情報システム（ＧＩＳ）などを用いて、必要な情報を適切かつ効果的に集め、まとめる技能を取得する。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に捉え考察し、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	・地理にかかわる諸事象に関心を持ち、粘り強く取り組みを行おうとしている。 ・地理的課題の解決に向けて、主体的に追究・解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図とGISの活用	・球面上の世界	ａ：球体としての地球、時差と生活、主な図法による世界地図、地図の表現を理解する。 ｂ：地上の現象や地球上の位置や、生活に影響を与える環境条件について、自然環境や社会環境、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：地上の現象や地球上の位置や、生活に影響を与える環境条件に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	定期考査　授業プリント	定期考査　グループワーク　ワークシート	授業プリント　ワークシート
		・国家の領域と領土問題	ａ：国家の３要素や国境の成り立ち、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国との領土問題について理解する。 ｂ：国境や領土問題が国際関係、人々の生活に及ぼす影響を考えまとめ、表現することができる。 ｃ：身近な国家の領域について目を向け、領域の役割について追及し、学習したことを社会生活に生かそうとしている。			
		・国内や国家間の結びつき	ａ：日本と諸外国の関係を理解するとともに、国家が連携する理由も理解する。 ｂ：国家間の結びつきが人々に与える影響を多面的・多角的に考察することができる。 ｃ：よりよい国際社会の実現に向け、意欲的に課題解決に取り組もうとしている。			

		・日常生活のさまざまな地図	a：地理情報システムについての基礎的な理解をする。 b：地理情報に対応した適切な地図表現の方法を判断・選択することができる。 c：身近な場所で、どのような地図が活用されているのかを主体的に学ぼうとしている。		
2学期	生活文化の多様性と国際理解	・自然環境と生活文化	a：地形の特徴の違いや気候の違いと人々の生活文化とのかかわりを理解する。 b：それぞれの地形・気候の特徴と人々の生活文化との関わりについて多面的・多角的に考察し、レポート等にまとめるなど適切に表現している。 c：地形・気候と自分たちの生活との関係について主体的に追究し、その考えをまとめようとする。	定期考査　授業プリント	定期考査　グループワーク　ワークシート
		・産業の発展と生活文化	a：世界の農業・工業の特徴と生活文化との関連性を捉え、その地理的環境や歴史的背景を理解する。 b：アジア各地を事例として、工業の変容やその影響による国際社旗の変化などを主題図や写真から読み取り、考えをまとめることができる。 c：アジアの工業発展について、主体的に追究し、自らの生活に関連する課題について意欲的に解決しようとしている。		
		・言語・宗教と生活文化	a：世界の言語・宗教の特徴と分布、生活文化との関係を考え、その地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解する。 b：宗教と結びつきの深い国々の特徴について、まとめ、票などで表現している。 c：世界の言語・宗教などの現代社会の諸課題を理解し、解決策を主体的に追究しようとしている。		

		・グローバル化の進展と生活文化	ａ：ＥＵの統合による産業や生活文化への影響、そして統合により生じた諸課題を理解する。 ｂ：持続可能な社会の実現に向けたヨーロッパの様々な取り組みについて多面的・多角的に考察し、レポートや発表等で適切に表現している。 ｃ：地域統合による人々の変化について主体的に追究しようとしている。			
３学期	地球的課題と国際協力	・人口・食料問題	ａ：持続可能な発展のために、飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解する。 ｂ：人口問題や食料問題について、SDGsと関連させるなどして多面的・多角的に考察することができる。 ｃ：人口問題・食料問題について主体的に追究し、世界の諸課題の解決に意欲的にかかわろうとしている。	定期考査　授業プリント	定期考査　グループワーク　ワークシート	授業プリント　ワークシート
		・居住・都市問題	ａ：都市人口の増加によって引き起こされる都市問題について理解する。 ｂ：都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中によって引き起こされる都市問題についても写真などから判読することができる。 ｃ：身近な都市問題の学習を通して、他者と協働しながら解決策を考えようとしている。			
		・資源・エネルギー問題	ａ：エネルギー資源の特徴や資源の偏在性を資料などから読み取り、理解する。 ｂ：エネルギー資源の持続可能な活用と地球環境問題との関係を多面的・多角的に考察し、考えをまとめ表現することができる。 ｃ：持続可能なエネルギー利用について意欲的に追究しようする。			

		・地球環境問題	ａ：地球規模で起こっている環境問題を理解する。 ｂ：地球環境問題の解決策を様々な立場で考えることができる。 ｃ：地球環境問題は自分にも関係するという意識をもって主体的に学習に取り組める。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度